

前結び宗家きの和装学苑山ノ内支部さくらの会

# 結心展

当会は前結び  
による分かり  
やすい着方。

初心者の方が  
必ずきものを着られるようにとの指  
導からプロレベルまで多彩です。



藤中 英子



山ノ内 順子  
さくらの会主宰



小寺 民子



2025. **3.15**(土) / **3.16**(日)  
13:00~17:00 (16日は16:00まで)  
2日間開催 入場無料



※結心(ゆいしん): 着物に締める機会  
が少なくなった帯を処分せずに、芯に巻  
き付けて飾るオブジェ。

帯を切らずに作る帯結びのオブジェ。  
「結心道」として展開...  
レストラン、銀行、道の駅、美容室etc  
いろいろな場所、受付等に置かれ、ア  
ートプロジェクトとして多方面に展  
示されています。

同時開催

## 朗読と琵琶「源氏物語〈夕顔〉」 出演 水鏡

朗読: 堀きよ美(女優) × 薩摩琵琶: 黒田 拓

女優・堀きよ美が、現代の琵琶法師・黒田 拓の調べとともに、日本文学最高傑作とされる紫式部「源氏物語」(河  
出書房新社『源氏物語 上』角田光代訳)の「夕顔」を語ります。

3月16日(日) 14:00~15:10 1回公演(投げ銭歓迎)

松野秀世 半部・夕顔 (出品/松野藝文館 千葉県四街道市)



## 予告 能舞台の華

能画―松野奏風・松野秀世と能面―外沢照章の世界

能楽は、我国の伝統芸能であり、重要無形文化財に指定、ユネスコ  
無形文化遺産に登録されています。小樽では、「田岡崎家能舞台」が歴  
史的建造物として、大正・昭和初期に花開いた能楽文化の面影を今に  
伝えています。

松野奏風・秀世父子は、画家として、各地の能舞台に松図を揮毫し  
ただけでなく、先人の描いた全国の松図を調査し、その記録と解説を  
執筆しました。秀世は「能に親しむ会」の招きにより、二〇〇〇年に  
本市を訪れたご縁があります。

また、松野父子は、舞台で繰り広げられる能楽師の姿を絵画で表現  
した「能画」の名手として知られ、加えて謡本の挿画も手がけました。  
一方、関東から能舞台のある小樽に惹かれて移住した能面作家、外  
沢照章は、これまでに一〇〇点を超える面打ちを行い、二〇〇九年よ  
り小樽で展覧会を通じ、能楽の普及に貢献しています。

本展は、能舞台そのものに着目し、千葉県四街道市に位置する「松  
野藝文館」のご協力を得て、能楽師の姿と舞台上の架空世界を描いた  
松野奏風・秀世の「能画」を展覧。同時に、演能のうえで欠くことの  
できない「能面」を外沢照章の作により、演目に添って展示し、華麗  
で詩情豊かな能楽の魅力をお伝えするものです。

2025. **4.26**(土) ~ **6.29**(日)

市立小樽美術館

〒047-0031 小樽市色内1丁目9番5号 tel 0134-34-0035